

琵琶湖への思いを未来に 語り継ぐ座談会

【日時】 令和8年 1月25日(日) 13:30～15:30

【場所】 滋賀県大津合同庁舎 7－A 会議室

滋賀県大津市松本1－2－1

■ 概要

国連総会にて「世界湖沼の日（8月27日）」に制定されました。この日は1984年に滋賀県で開催した第一回世界湖沼会議に由来します。

琵琶湖をはじめとした世界の湖沼の保全を一層進めることを目指し、次世代を担う高校生や大学生が、琵琶湖やそれを取り巻く山・川等の環境保全に深く関わってきた関係者の皆様と交流し、長年の経験や思いなどを直接聞き取り、そしてそれらを未来へとつなげていくため、以下のとおり座談会を開催します。

■ 内容

13時30分～14時20分 第一部 経験・活動の概要報告

14時30分～15時30分 第二部 座談

■ 登壇者

藤井 絢子氏（菜の花プロジェクトネットワーク 元代表）

藤本 秀弘氏（山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会 元事務局長）

谷口 良一氏（マキノ自然観察倶楽部 代表）

辻 ひとみ氏（夢・びわ湖 代表）

■ 募集

座談会に参加する高校生および大学生を募集します。

以下の申込みフォームよりお申込みください。（〆切：令和8年1月20日(火)）

<https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/apply-procedure/4949233200402220543>

・会場までの交通費は主催者側が負担します。



■ その他

・一般の方の傍聴も可能です。

・座談会の模様は、びわ湖放送株式会社が撮影し、ドキュメンタリー形式でとりまとめます。また内容の一部は、同社の番組内で放送します。

【問合せ先】 滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課

TEL:077-528-3466 / FAX: 077-528-4847/E-mail: biwako-cr@pref.shiga.lg.jp

■ 登壇者紹介

藤井 絢子氏

菜の花プロジェクトネットワーク 元代表



1971年守山市に転居後、湖南生協に参加。以後せっけん運動などに携わり1989年環境生活協同組合理事長。1989年から2009年の間、同協同組合理事長。NPO法人菜の花プロジェクトネットワークでは、食とエネルギーの地産地消をかね、菜の花をつかった循環型社会の構築を行う。

谷口 良一氏

マキノ自然観察倶楽部 代表



高島市生まれ。元滋賀県職員。1998年「赤坂山自然ガイドブック」を作成、マキノ自然観察倶楽部を創設。赤坂山を初めとするマキノの豊かな自然を将来に引き継げるよう、自然観察等の活動が続ける。2006年から環境省自然公園指導員の委嘱を受け活動。また、四季折々のアクティビティ等を楽しめる「体験民宿 四季の森」を運営、豊かな自然を伝える取組を行う。

藤本 秀弘氏

山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会 元事務局長



犬上郡多賀町河内生まれ。元理科(地学)高校教諭。滋賀県の花崗岩の化学的研究に始まり琵琶湖湖底堆積物・滋賀県の活断層と表層地質の調査に関わる。1987年「山門湿原研究グループ」を組織。2001年には研究グループメンバーらと山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会を立ち上げ、希少動植物の保全活動を行う。

辻 ひとみ氏

夢・びわ湖 代表



高島市生まれ。1995年から3期12年守山市議会議員を務める。1996年滋賀県初の流域協議会「豊穰の郷(さと)」の立上げに関わり、赤野井湾の水質改善と豊かな生態系の復元を目指し活動を開始。2005年には「夢・びわ湖」を設立、湖岸清掃や水質浄化を目的としたイケチョウガイの生育などの活動を行う。

「世界湖沼の日(8月27日)」とは

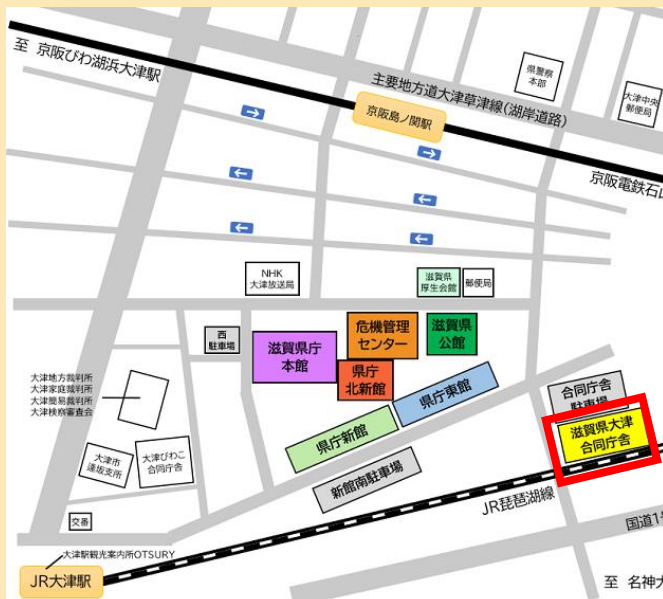


令和6年12月、国連総会にて「世界湖沼の日」が制定されました。「世界湖沼の日」は、湖沼が世界各地の淡水需要や生態系の健全性、生物多様性保全に取り組む上で重要な役割を果たしていることを、あらゆるレベルで世界的に注目を集めるために国連が定める記念日(国際デー)です。

この8月27日は、昭和59年(1984年)に滋賀県大津市で開催された「第1回世界湖沼環境会議(世界湖沼会議)」の開会日に由来しています。この会議は、琵琶湖から始まった湖沼保全の取り組みが世界に広がるきっかけとなりました。

水を大切に、湖沼環境やそれが育む豊かな生態系を守ることが、私たちの生活を豊かにすることにつながります。みんなで一緒に、湖沼とともに生きる未来について考えましょう。

アクセス



JR 大津駅から東へ徒歩約10分

※ 公共交通機関での来場に御協力をお願いします